

第252回農林交流センターワークショップ（参加費無料）

食品を対象とした放射能分析（初級者向け）

受講される方には実習（放射能測定・試料充填・不確かさ見積もり）のための事前準備を行っていただきます。
受講者決定後に、事前準備に関する実施要領等を送付いたしますので、ご対応いただきますようお願いいたします。



東京電力福島第一原子力発電所事故以降（2011年以降）、農産物を含む食品を対象とした放射性セシウム検査が、食品衛生法のもと、国内の分析機関で継続して実施されています。放射能測定を正しく行うためには、「正確な計測器」、「計測器の正しい使い方」、「測定者の正しい技能」が必要です。

本ワークショップでは、放射能分析実務者を対象に、ゲルマニウム半導体検出器を使用した放射性セシウム測定について、産学官それぞれの放射能分析に携わる専門家による講演や実習（放射能測定・試料充填・不確かさ見積もり）を実施いたします。放射性セシウム測定に必要な基礎的知識から測定現場における実務の技術までを体系化したワークショップとなっており、農産物・食品の放射性セシウム測定を正しく行うための知識や技術を提供いたします。

- 開催日：令和8年11月26日（木）～11月27日（金）※2日間
- 開催場所：農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター
農林研究交流センター（茨城県つくば市観音台2-1-9）
- 申込対象：農産物や食品等を対象とした放射能分析業務従事者及び本業務に関心のある方
- 募集人数：10名（全日程に参加することとし、代理の方の参加は認めていません。）
- その他：研修生宿泊施設のご利用は、受講決定後にお伺いします。

コーディネーター・講師



農研機構食品研究部門
研究推進部研究推進室 連携調整役

八戸 真弓（はちのへ まゆみ）

※農研機構とは...
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の
コミュニケーションネーム（通称）です。



講義と実習の概要

11月26日（木）10:30～17:00

- 10:30～10:35【連絡】受講に関するご連絡
- 10:35～10:40【挨拶】諸連絡・資料確認など
- 10:40～12:00【講義】放射線、放射能の基礎・概論
- 13:15～14:15【講義】福島県農業総合センターにおける放射能分析の取り組み
- 14:20～15:30【講義】放射能計測における標準物質の利用と技能試験について
- 15:35～16:35【講義】放射能測定精度管理についての福島県の取り組み
- 16:40～17:00【講義】東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う諸外国・地域の輸入規制に関する情報提供

11月27日（金）9:15～16:45

- 09:15～10:00【講義】放射能分析用試料調製方法について
- 10:00～12:00【実習】放射能分析用試料調製実習
- 13:00～14:00【講義】放射能分析における不確かさについて
- 14:00～16:30【講義・実習】放射能計測における実務と不確かさの実際
- 16:30～16:45【閉講】

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 【講師】 八戸 真弓（農研機構食品研究部門） | 鈴木 忠宏（農研機構食品研究部門） |
| 山田 崇裕（近畿大学原子力研究所） | 濱松 潮香（東京都農林総合研究センター） |
| 岡崎 徹哉（福島県農業総合センター） | 阿部 敬朗（セイコー・イージー・アンドジー株式会社） |
| 三浦 勉（産業技術総合研究所） | 横山 大輝（セイコー・イージー・アンドジー株式会社） |
| 結城 雅弘（福島県環境創造センター） | |

申込締切日 令和8年8月27日（木）まで

お申込みはウェブページよりお願いいたします。選考結果は、9月3日頃メールにてご連絡いたします。

